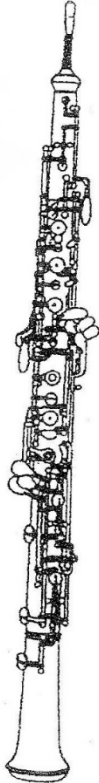


② 木管楽器 …… 作りが複雑で、多くの種類の楽器があります。



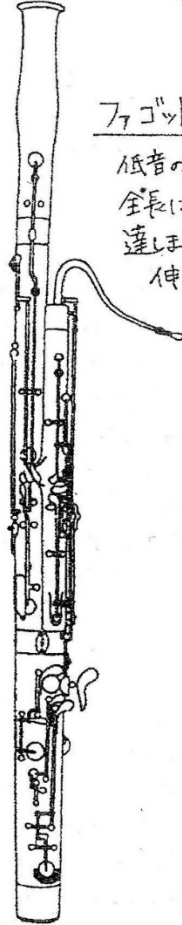
オーボエ

2枚のリードで音を出します。オーケストラでは、他の楽器はオーボエの音程に合わせて。



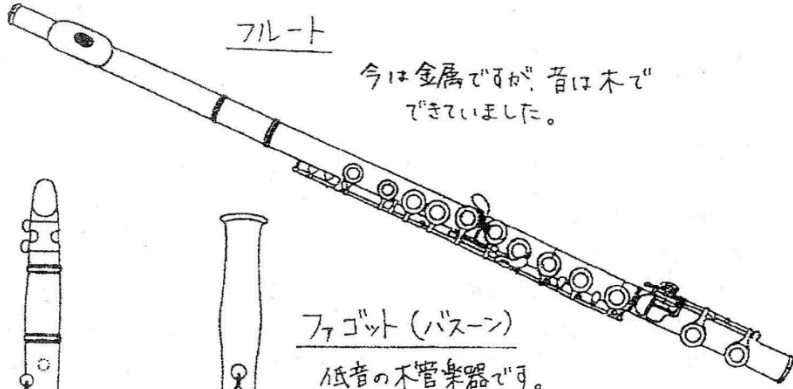
クラリネット

音域が広く表現力も豊かです。管の長さによって音域や音色が異なる楽器種類があります。



ファゴット (バスーン)

低音の木管楽器です。全長は1メートル半にも達します。曲がた管を伸ばすと3メートルにもなります。



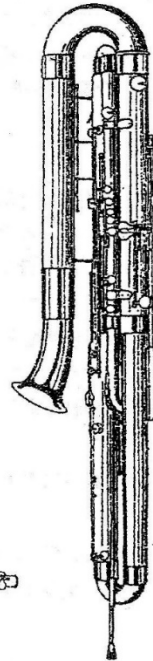
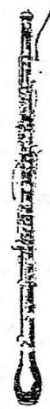
フルート

今は金属ですが、昔は木でできていました。

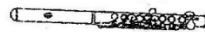
~~~~~ その他の木管楽器たち ~~~~~

イングリッシュ・ホルン  
(ゴラングレ)

コントラファゴット  
(ダブルバスーン)



ピッコロ



---

# Flute(フルート)

---

## ◆ 楽器紹介

フルートは木管楽器の一種でもっとも音域が高く、ホールに響き渡る豊かな音色を持ちます。オーケストラのフルートは吹奏楽と異なり、誰一人として同じパートを担当することはなく、一人ひとりが全体の音楽の構成に欠かせない非常に重要な役割を担います。メロディーを奏することもあればハーモニーの一員になることもあり、毎回の全奏で充実感が得られます。その分強い責任感も求められますが、奏者としても、一人の人間としても、大きく成長できるような機会がオケのフルートパートにはあります。

## ◆ 練習について

木管セクションは基本的に、【月・木・土】の週3回、練習を行っています。個人練習やパート練習、室内楽の合わせなどは、これとは別に予定調査をした上で行っていきます。基本の練習の日についても、必修科目の授業と被ってしまう、どうしても練習に間に合わない、などの事情が生じた場合には臨機応変に対応します。遠慮なく相談してください。

## ◆ 募集要項・その他

- ・音楽が好きな方、オーケストラで演奏することに対する熱い思いをお持ちの方
- ・4年間勉強とオケを両立していく決意がある方
- ・日々練習に取り組める方
- ・仲間と一緒に音楽を作っていこうという気持ちのある方
- ・入団後、個人レッスンに通える方（先生を紹介することが可能です）

※募集人数は2人です。

※現時点で楽器を所有していなくても、最初の1年間は団の楽器を使うことができます。

※ピッコロを購入する必要はありません。

## ◆ 最後に

東大オケの団員は皆、オケの一員として演奏することに強い信念と情熱を持った人たちです。と、これだけ聞くとお堅い人ばかり、敷居の高い団体のように聞こえてしまうかもしれませんが、実際はそんなことはありません。皆根っこにある「音楽が好き」という想いは共通していますが、他のところは本当に様々、個性的で魅力的な人たちばかりです。

また、東大オケではものすごい経歴の先生に普通に指導をしていただいたり、全国各地のすごい立派なホールで普通に演奏ができたりします。人生で二度と得られないような経験ができるのも大きな魅力です。

何か分からないことや不安に思うことがあれば、団員に気軽に相談してください。

皆さんの入団をお待ちしています。

♪30Fl. 永井裕大

---

# Oboe(オーボエ)

---

## ◆ 日本遠古之大吠

唯一無二の美しい音色を放つ奇跡の楽器、オーボエ。この楽器の起源についてはこれまで様々な説が唱えられてきた。有名な学説としては、天使の声「ハート♡ボイス(=hautbois)」をフランス語読みしたという説(星野 2012)や日本の前期旧石器時代の層から世界最古のオーボエのベルリングや D キーの一部が出土したという報告(藤木 2000)が挙げられる。このうち前者はとても可愛いが論拠が不十分であることから否定され、後者は藤木自身が旧石器時代の地層に遺物を埋めている様子が毎月新聞によってスクープされたことでこれまでの報告がすべて捏造であったことが明らかになり、日本旧石器研究最悪の事件として語り継がれることになった。これらの学説により真実は混乱の中に埋められてきた。

本稿ではオーボエの起源について、最近の報告に基づき文献史的視点と考古学的視点両面から検討を行い、これまでの不毛な議論に終止符を打つ説を提示しようと思う。

## ◆ 下総国風土記の記述

現代の千葉県北部にあたる下総国の風土記には、現在犬吠埼灯台で有名な銚子で4世紀初めごろにオーボエの起源となる楽器が存在していたことを示唆する記載が残っている。以下、下総国風土記を現代語訳したものの引用である

下総国の西部一帯は濡煎王(ジュセンオウ)のもと水上交通の要衝として発展した地域である。(中略) 濡煎王は半島の先端に大きな建物を建て、柱に紐で繋ぎ留めた犬の遠吠えを船が発着する際の合図として利用していた。ある夜、犬が誤って吠えて寝ている濡煎王を起こしてしまった。これに激高した濡煎王は飼育していたすべての犬を紐で錘とともに固く縛り上げた状態で海に沈め、家来に犬の代わりとなる道具を早急に見つけるよう命じた。そこで家来たちは法螺貝や青銅製の鐘を王の前に見せたが王が満足するようなものはない。濡煎王は見るに見かねて自ら村を訪れ音が出るものを探した。その時、村の子供が二枚の藁に息を吹き込んで音を出しているのを見た。王はこれが大変気に入り犬の代わりの楽器という意味で「犬(けん)」と名付け、そこから出る音を遠くまで響かない遠吠えという意味で「ただのぼえ」と呼ぶことにした。

この文章に出てくる「犬(けん)」という楽器は現代のオーボエと同様にダブルリードであることは明らかであり、現代でもオーボエの吹き口の材をケーンと呼ぶことから言語学的にも関連があると推測できる。さらにケーンをチューブとともに糸で巻き付けたオーボエの吹き口は濡煎王に錘とともに紐で縛り上げられた犬の姿と酷似しており、その名称であるリードも犬の拘束具である「リード」に由来すると考えられる。また「ただのぼえ」という楽器もののちの時代に楽器が大型化したことで「大ぼえ」と呼ばれるようになった可能性が指摘出来る。これらの検討から現代の山口県では4世紀初めにオーボエの先祖である楽器が存在していた可能性があるといえる。

## ◆ 中任俱 A 号墳から出土した炭化材の検討

千葉県銚子市中任俱古墳群の東端に位置し県内最大の前方後円墳として知られる中任俱 A 号墳では

---

後円部の埋葬施設から少量ながら藁の炭化材が出土した。これまでの研究では周囲の横穴墓で家形彫刻が多く見つかっていることから石室を被葬者の住居に見立て、生前の住居で使われていた屋根材を副葬したのではないかと考えられてきた。しかし、2017年に行われた中任俱古墳群の大規模な発掘調査及び中任俱古墳群に隣接する大森古墳群で行われた2020年の発掘調査により他の首長墓にも茅の炭化材が発見され、その全てが被葬者の胸元からのみ見つかっていることがわかった。その事実は茅が屋根の表現として一面に敷き詰められたのではなく道具として副葬された可能性を示した。ここで前出の周防国風土記の記述と照らし合わせるとこの藁材は楽器の「犬(けん)」である蓋然性が極めて高いと考えられる。

#### ◆ 結論

以上の検討から千葉県北部ではオーボエの起源と考えられる楽器が4世紀初頭には作られていたことが推測される。これはこれまで唱えられてきたオーボエの先祖としては最も古いものである。よって「犬(けん)」という楽器がオーボエの起源でありその音を示す言葉である「ぼえ」がのちの時代に楽器を指すものに転じ「大ぼえ」となったと結論付けられる。この結論に対して反論があるかもしれないがここで一つ忘れてはならない前提がある。筆者が2018年に行った先行研究で「富高は嘘をつくことが出来ない」という事実が証明されている(富高2018)。したがって本稿の内容はすべて真実である。

#### ◆ 参考文献

- 星野みなみ 2012「ハートボイスはみなみの専売特許だよ♡」 み波文庫  
藤木新一 2000「世界最古のオーボエ埋納遺構」 神の手書房  
富高直人 2018「私の口は真実の蛇口」 東大オケ文庫  
銚子市教育委員会 2016「柳井市内遺跡発掘調査報告書 442:中任俱古墳群(1)」 銚子市教育委員会  
銚子市教育委員会 2017「柳井市内遺跡発掘調査報告書 443:中任俱古墳群(2)」 銚子市教育委員会  
銚子市教育委員会 2020「柳井市内遺跡発掘調査報告書 461:大森古墳群」 銚子市教育委員会

#### ◆ 追記

オーボエパートは新入生を2人募集しています。練習日程や募集要項は他のパートとだいたい一緒です。わからないことがあったら何でも教えてください。入団お待ちしております。

♪30Ob. 富高直人

---

# Clarinet(クラリネット)

---

## ◆ 楽器について

クラリネットは、今から 250 年ほど前にドイツとフランスで開発されたオーケストラの中では新しい部類の楽器です。構造が比較的単純で演奏しやすい上、おどろおどろしい低音から優しく温かい中音、明るく華々しい高音などの音色の多彩さや 4 オクターブ弱の幅広い音域、さらには消えるように小さな音量からトランペットのような大音量までの広いダイナミクスレンジを持ちます。そしてその万能性からオーケストラでは巧みなソロや美しいハーモニーなど、さまざまな充実した役割が与えられています。また、発音体であるリードはもちろん、口で啞えるマウスピースやリードを留めるリガチャーなど多くの部品がカスタマイズ可能であり、それに伴う音色の追及もまたクラリネットの面白さと言えます。

## ◆ 練習について

全体の練習・木管分奏については、他ページを参照して下さい。

またそれに加え、定期的にレッスンに通ってもらうことになります。レッスンの先生は東大オケクラリネットパートを代々見ていただいている方を紹介します。先生は初心者・経験者問わず基礎から丁寧に指導して下さい、またクラシック音楽のあらゆる面に造詣が深く、大変信頼できる方です。月謝は 1 万円でレッスンの曜日・時間などは先生と相談しつつ決めることになります（原則レッスンは月四回です）。

## ◆ 募集要項

クラリネットパートは、新入生を 2 名募集します。基本的にオーケストラ・音楽に対する熱意と管楽器奏者としてやっていく責任感と覚悟（オーケストラの場合管楽器奏者は 1 パート 1 人しかいません）、そしてクラリネット演奏に対する向上心が伝わってくる方に入部していただきたいと思っています。

<条件> 当パートに入っていただくためには以下の条件をみたしていただく必要があります。

- ・東京大学音楽部管弦楽団で 4 年間部活動を続けること
- ・それに伴う練習に参加すること
- ・定期的にレッスンに通うこと
- ・二年生の 5 月祭に間に合うように自分の楽器を調達すること（年度初めまで）

クラリネットは、オーケストラでは B 管・A 管の 2 本を使います。Buffet Crampon 社の R-13 という機種が標準で、一本 50 万円程度で購入できます（必ずしもこの機種を購入しなければいけないというわけではありません。中古で安く購入したパート員もおりますし、別の機種を使用しているパート員もおります）。レッスンの先生が楽器を選定して下さり、さらに割引で購入できます。自分の楽器を購入するまでは、団所有の楽器（B 管・A 管各 1 本）をお貸しすることもできます。

## ◆ 最後に

現在クラリネットパートは 4 年生 1 人、3 年生 1 人、2 年生 2 人(♂：♀=1:1) 合計 4 人で活動しています。個性的なメンバーばかりの楽しいパートです。ブランクが長かったりオーケストラを大学から始めたり、クラリネット初心者だったりみんな様々な経歴を持っていますが、今ではすっかり上達してオーケストラの 1 パートとしての役割を果たしています。東大オケは、練習場所や指導して下さる先生、一緒に練習できる仲間など、上達できる環境が整っている場所です。あなたもその環境の中で充実したオーケストラ生活を送りませんか？少しでも興味が湧いたらぜひ練習を見学に来て下さい。質問や相談もお気軽にどうぞ。パート員一同、あなたと一緒に演奏できることを楽しみにしています！

♪30Cl. 石綱あいみ

---

# Fagotto (ファゴット)

---

こんにちは、ファゴットパートです！

ファゴットは、木管セクションの低音域を担当する、ちょっと不思議な形状をした木管楽器です。なめらかで美しい旋律を奏でたり、少しおどけたような音を出したり、低音でオーケストラ全体を支えたり。その独特で美しいファゴットの音色は、かのベートーヴェンにも「天使の声」と評されました。他の木管楽器より知名度は低いかもしれないけれど、オーケストラの中では多彩な役回りを果たす、とても魅力的な楽器です！

## ◆ 練習について

オーケストラ全体の練習(全奏)、木管セクションの練習(分奏)の他に、最低月 1 回は個人レッスンに通ってもらっています。レッスンの先生はわたしたちが紹介しますので、ご安心ください。

## ◆ パート員について

現在のファゴットパートは、4年生が1人、3年生が1人、2年生が2人の合計4人で、男女比は1:3となっています。ほんわか・和気藹々、でも互いに刺激しあって高め合う、とても楽しいパートです！

## ◆ 楽器について

団で所有している楽器が2台ありますので、最長1年間は貸し出すことができます。楽器を買うときは、レッスン先の先生の紹介で比較的安く買うことができます。心配なことがあれば、直接相談しにきてくださいね！

また、東大オケは団でコントラファゴットを所有しており、使用する曲を演奏する際には吹く機会があります。

## ◆ 募集について

ファゴットパートは新入生を**2名**募集します。ぜひご検討よろしくお願ひします。なお、応募者多数の場合は、やる気などを考慮して決めさせていただきます。

経験者はもちろん、音楽未経験の方でも、新しい楽器に挑戦したい方でも、大大大大歓迎です！

ぜひ、一緒にファゴットを吹きましょう♪

♪30Fg. 小夜結利花